



東日本大震災から5年…
 ‘私たちにできることは何か’ということを考えながら、復興地へ向けた支援や、関西の人たちに復興地で感じたことを伝えてきました。また、防災・減災について考える活動も行ってきました。
 NPO 法人になり1年。ワカモノチカラ結成から5年目。たくさんの方に支えられ、今のワカモノチカラがあります。
「ワカモノの元気を復興地に、社会に届けたい！」
 これからも復興地に寄り添い、ワカモノだからこそできることをやっていきます。ワカモノチカラは無量大！

活動内容

防災アカデミー～1泊2日防災キャンプ～

今年度は2か所、計30名の子どもたちと一緒に1泊2日の防災キャンプを行いました。床の上に寝袋を敷いて就寝したり、身近なもので防災グッズを作ったり、限られた水をどう使っていくかなどを考えたりしました。
 ‘見ず知らずの人と協力して生活する’ ‘限られたものを有効活用する’ ‘自分の町をもっとよく知る’ など ‘これって防災?’ と感じるものも防災なのだと思いました！

▶2015/1/17.18 @三木市
 ▶2015/2/20.21 @姫路市



ワカボラネット

災害が起きたとき、関西に住むワカモノたちに瞬時に支援を呼びかけることができました。また、東日本大震災の月命日である11日に配信することで、その日だけでも震災について意識を向けてほしいという想いを伝えることができました。次年度は新たな登録者数を増やし、より効果的な情報発信のツールにしたいです。

子ども防災パーク～守れ！みんなの命～

子どもたちに、楽しみながら自分のいのちを守る方法を学んでほしいという想いから開催しました。御影クラッセ（神戸市）で行い、計500人の一般の方が参加し、紙食器を作ったり、レスキューシートを体験したりしました。このイベントでは、他の被災地支援や防災啓発活動を行う学生団体（約10団体）にもブースを出展してもらい、非常に規模の大きいイベントとなりました。ステージでは、参加してくれた子どもたちから ‘学校で習ったことある’ ‘ゴミ袋こうやったら使えるよ’ など活発的な意見がたくさんでました！（2015/3/8）



サンデーロボット～避難家庭支援活動～

今年度は神戸市を中心に、関西へ母子避難されている方々の交流会に5回参加し、子どもたちと遊ぶ活動をしました。子どもたちに元氣よく思いっきり遊んでもらい、ワカモノメンバーまで子どもに戻った気分でした。年が近いこともあり ‘お兄さん’ ‘お姉さん’ 的存在として、走り回ったり身体を動かしたりして遊びます。また、活動していく中で震災のことや福島原発問題などについて考えさせられました。これからもワカモノを必要としてもらえるように積極的に活動していきたいです。



あんだんて ～被災者生活支援活動～

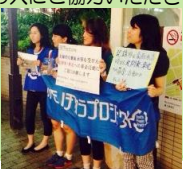
今年度は地域の祭りや音楽祭、大学の学園祭など、計11ヶ所のイベントでブースを出店し、東北の仮設住宅の方が作られたミサンガなどの手作り商品を販売しました。また子どもを対象に防災クイズを出題する活動を行いました。販売活動の際には、訪れた方へ商品に込められた想いや、私たちが復興地で感じた想いを伝え、一人でも多くの方が震災のことを忘れないよう、また子どもたちに防災知識を身につけるためのきっかけ作りを行いました。



緊急災害支援活動

▶2015/4月 ネパール大地震緊急募金
 ▶2015/9月 北関東・東北豪雨水害支援

私たちにできることとして募金活動を三宮中心に計8回行い、たくさんの人にご協力いただきました。今後、突発的な災害が起こったときは、現地での活動も行い、役立ちたいです。



第6回学生未来フォーラム

「正しいメディアの使い方～あなたの情報収集力は大丈夫?～」というタイトルの元、現役新聞記者の方をお呼びし、東日本大震災の「風化」についてや、復興地の情報をどうすればきちんと収集できるかなどを学びました。また、実施の震災の情報を使い、どう情報発信すべきかを20名弱の参加者と共に考えました。震災のことを風化させないために、月に1回でも震災のことを思い出し、忘れないことが大切だと感じました。（2015/9/6）



ワカモノ勉強会

災害が起こったときにすぐにでも被災地でボランティアしたい…けど、その方法や心構えがわからない…そんな人たちのために今年度新たに企画したのがワカモノ勉強会。「ワカモノ災害研究室～災害ボランティアを高橋守雄さんから学ぶ」と題して、災害支援の最前線で活動してこられた高橋守雄さんからお話をお聞きしました。（2015/7/19）

